

茅ヶ崎・寒川地域 早期膵がん診断プロジェクトについて

茅ヶ崎市立病院（以下「市立病院」）では、茅ヶ崎・寒川地域において初めてとなる早期膵がん診断プロジェクトを開始いたしました。

1 プロジェクトの概要

発見や診断の難しい膵臓がんに対し、早期に発見し治療につなげることができるよう、市立病院で「茅ヶ崎・寒川地域 早期膵がん診断プロジェクト」を開始いたしました。

2 茅ヶ崎・寒川地域 早期膵がん診断プロジェクトについて

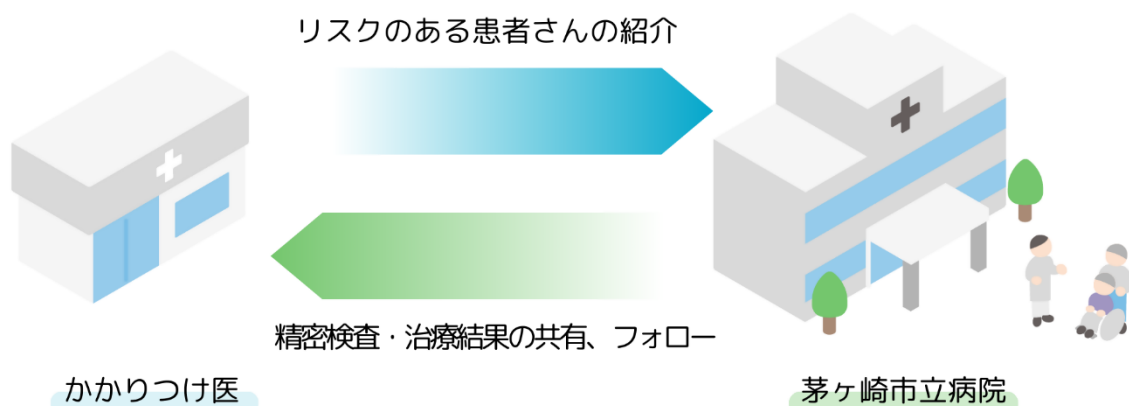
膵臓がんは、発見や診断が難しく、生存率の低い予後不良ながんとなっていますが、大きさが10mm未満の場合や病期が早い段階で診断すれば生命予後の改善が期待されます。

しかしながら、早期（ステージ0やⅠ）に診断される膵がんの割合は全体の約5%に過ぎず、5年生存率は11.9%と非常に低い状況となっています。

そこで、市立病院では膵臓がんを早期に発見し治療につなげるため、「早期膵がん診断プロジェクト」を開始し、地域の先生方と協力しながら、膵臓がんを疑うリスクが発見された場合に精密検査を行い、適切な診断・治療を進めていきます。

この早期膵がん診断プロジェクトは既に横浜市などで稼働していますが、茅ヶ崎・寒川エリアでは初の試みとなっており、このプロジェクトは茅ヶ崎医師会とも連携しています。

<プロジェクトのイメージ>



3 その他

本件についてお問い合わせがある場合は、茅ヶ崎市立病院医事課 0467(52)1111 内線 1100 までご連絡ください。

〔 担当 茅ヶ崎市立病院 内視鏡センター長 佐藤高光
茅ヶ崎市立病院 医事課 課長 高瀬達也 〕